



報告:有楽斎

毎月第二日曜日の午後1時半から午後4時ごろまで、朝日2丁目集会所で「囲碁入門講座」に、それなりに一所懸命取り組んでいるのですが、新型コロナウイルス感染を防ぐために、「三つの密」密閉・密集・密接を避けがたく、まことに口惜しところですが、**現在休局中**です。

(棋士名は椿に因んだ名をニックネームとして表記しています)

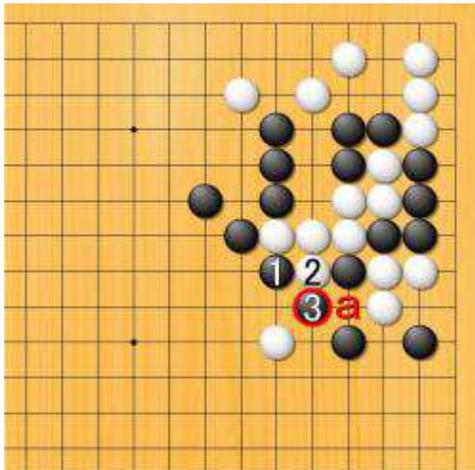
今号でも 直観力とヨミの精度を鍛える詰碁問題をご案内したいと思います。

(監修:太神楽(だいかくら)師匠)

手筋問題 攻防の手筋と攻め合いの手筋。読み抜く力をつける 白と黒の石が切り結んでいるとき、その要の石を含む一団を取るか取られるかは、勝敗を決しかねない大きな問題です。ここではそんな中盤の攻防、攻め合いに強くなるための手筋問題を6題ほど用意しました。最初の3問は、切り結んだお互いの石が取るか取られるかの攻防、後半の3問は相手の死活が絡む攻め合いの問題です。

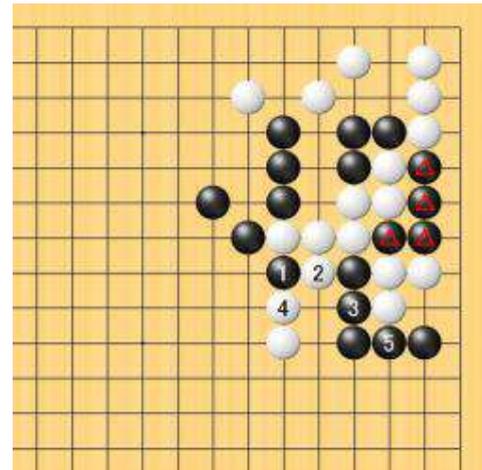
前号からの続きです

手筋問題 2 失敗



黒1から3とシボリを狙うのが筋のようですが、白aと取られた後、黒に両アタリが残りますから、白に先手が回ります。右辺の白と黒のダメは3対3になり、黒の負けです。

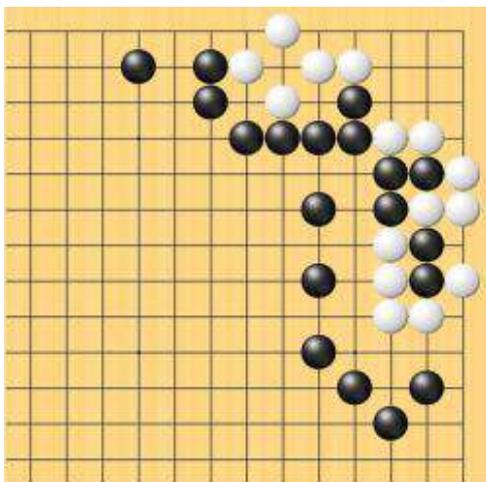
手筋問題 2 正解



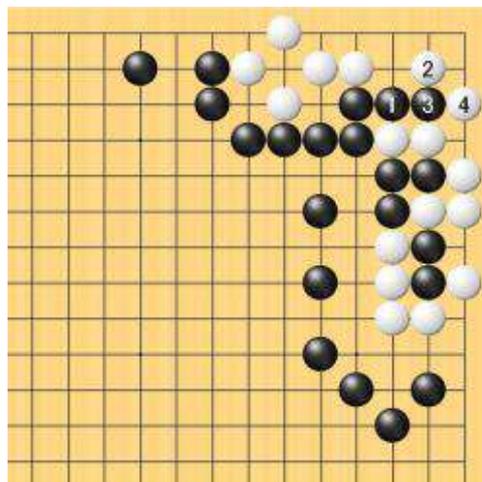
黒1とアテてからの黒3ツギが盲点です。白は4と中央の石を守らざるを得ず、黒5とダメを詰めて右辺の白3子が取れます。

手筋問題 3 黒番

攻防 右辺の白を取ってください。



手筋問題 3 失敗



黒1と単純に出るのは白2、4でワタっています。問題として出されれば、このような俗手が正解になるとは思わないでしょうが、実戦では手拍子で打ってしまいそうです。

正解は次号(第53号)でご案内します。お楽しみに